

| | | | | | | | | | | |
|-------------|---|--------------|------------|--------------|--------|----------------------------|----------|------|----|------|
| 開設科目名 | キャリアデザイン・ゼミナールB(6) ◆安全・安心のまちづくり実践講座◆ | | 単位数 | 1単位 | 担当教員 | 瀬渡章子、井上容子、 向井洋一(生活環境学部) | | | | |
| 開講期 | 前期 | | 授業方法 | 演習 | 週時間 | 2時間(不定期) | | | | |
| 対象学生 | 全学 全年次 | | 科目番号 | 009180 | 曜日 | 水 | 時限 | 9・10 | 教室 | E102 |
| 授業の概要 | 地域との連携を取りながら、大学周辺地域の生活環境の現状を防犯の面から把握し、地域が積極的に「安全・安心のまちづくり」に取り組んでいく上で、学生自身がどのように地域に貢献していくことが出来るのかを考えていく。更に、地域の生活安全や生活環境整備に携わる諸機関と連携をとりながら環境改善を考えることで、地域の環境整備に役立つ能力を養成する。 | | | | | | | | | |
| 学習・教育目標 | ① 身近な生活環境および自身の生活行動の実態を防犯の面から把握し、認識する。 ② 大学周辺地域の環境および人々の行動を客観的にとらえ、問題を発掘し、解決策を考える力を養う。 ③ 環境整備や自主防犯活動を行うにあたって、地元自治会、行政、警察など地域の生活安全や生活環境整備に携わる関連諸機関との連携の取り方について学ぶ。 ④ 地域の環境整備活動「安全・安心のまちづくり」に必要な基礎的専門知識を関連講義(副科目)を通じて学習し、改善活動実践能力を養成する。 | | | | | | | | | |
| キーワード | 安全・安心、まちづくり、地域連携、犯罪抑止、事故防止 | | | | | | | | | |
| 授業計画 | 授業は前期不定期として実施(90分×7.5回) 【演習の流れ】 1. ガイダンス 2. 「安全・安心のまちづくり」に関する講習会:ゲストスピーカー 最近の犯罪および犯罪対策の動向を知る(犯罪被害発生状況:被害、時間・場所、被疑者、被害者等の特徴など。警察、行政、市民による防犯活動) 3. 身近な犯罪被害の原因と対策の検討(ワークショップ形式で) 空き巣、ひったくり、自転車盗などの身近な被害について、発生原因や対策の現状について意見交換し、物的環境および生活者の意識面から被害を防止する上での問題点を探る。 4. ひったくり防止対策の成功と失敗に学ぶ:ゲストスピーカー 「ひったくり」を対象に、防犯活動の実践者からこれまでの取り組みについて説明を受け、成功と失敗の要因について考える。 5. ひったくり防止対策の検討と新しい商品開発 ひったくり防止対策を利用者の意識・行動、地域環境整備などから検討するとともに、ひったくり防止に効果的な自転車の前カゴのデザインを提案する。 6. 報告書作成 7. 活動報告会(公開) | | | | | | | | | |
| 教科書 | 指定なし。必要に応じて資料を配布。 | | | | | | | | | |
| 参考書 | 必要に応じて随時紹介。 | | | | | | | | | |
| 成績評価方法 | 課題設定、調査計画立案、調査実施、結果の分析、報告(改善提案を含む)という一連の活動を総合的に評価する。 | | | | | | | | | |
| 評価割合 | 定期試験(中間・期末試験) | 小テスト・授業内レポート | 宿題・授業外レポート | 授業態度・授業への参加度 | 受講者の発表 | 講の出席 | 課題報告レポート | 合計 | | |
| | % | % | % | 30% | 20% | % | 50% | 100% | | |
| 備考 | ① 本科目は「キャリア教育科目」に属する。受講登録手続きで記入する科目は、「キャリアデザイン・ゼミナールB07」のみでよい。卒業要件単位には数えない。 ② 住環境学科平成18年度以降入学者は「住環境学フィールド演習V」(科目番号:065860)で登録すること。 ③ 受講希望者が多い場合は選考することがある。 ④ 副科目:建築・住宅史、建築一般構造学、建築装備学Ⅰ、住環境計画学、都市計画学Ⅰ(ただし、これらの副科目が未履修であっても、本科目の履修は可能です)。 ⑤ 初回の開講日などについては、掲示に注意すること(問い合わせは学務課学務係へ)。 | | | | | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 担当者の連絡先、オフィスアワーはシラバスの巻末に記載 | | | | | | | | | |